

令和2年度第3回富士見市いじめのない学校づくり委員会
会議録要旨

【日時】 令和3年2月15日（月） 14:00～16:30

【開催場所】 富士見市教育委員会 会議室

【出欠状況】

小林	塚田	長堀	忽滑谷	発田
○	○	○	○	—

【事務局】

教育相談室長 指導主事1名

【次第】

- 1 開 会
- 2 教育委員会あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 報告事項
(1) 令和2年度 富士見市立学校におけるいじめ等の状況について
- 5 議 題
(1) 「いじめのない学校づくり」について
(2) コロナ禍での不登校対策について
- 6 事務連絡
・来年度の会議日程について
- 7 閉 会（副委員長）

【議事】

(1) 令和3年度 いじめのない学校づくり子ども会議について

【事務局】 今年度は新型コロナウイルス感染防止により開催中止としたため、各学校での取組を紙媒体で共有した。「いじめのない学校づくり」の取組を市内全体で推進するために各校の取組をとりまとめ、リーフレットの作成を予定している。

昨年度（R元）は、中学校区に分かれて各校のいじめの現状や取組について話し合った。来年度（R3）は、中学校区で共通した具体的な取組について話し合いたい。

来年度の実施方法や話し合いのテーマについてご意見を伺いたい。

【委員】 感染状況にもよるが、集まっての話し合いが難しければ、オンライン会議としてはどうか。オンライン会議を想定して計画を立てるとよい。

【委員】 オンライン会議ならば、「ネットいじめ」を話し合いのテーマとしてはどうか。

【委員】 ネットやスマートフォン等の利用について、家庭でもルールを決めていると思うが、そのルールについて話題にする方法もある。

「長い時間使用しない」「不適切なメールをしない」とルールを決めていても、「長い時間」とは何時間なのか、「不適切」とはどのような内容なのか、保護者と子どもで共有できていない場合もある。より具体的なルールづくりについて話し合うとよいと思う。

【事務局】 平成30年度の「子ども会議」において、中学校グループでネットいじめについて話し合った。現在は小学生においても携帯電話やスマートフォン等によるトラブルが発生している。小・中学校問わず現代的な課題になっていることからテーマ候補としたい。また、オンラインによる会議も事務局内で検討したい。

【委員】 オンライン会議にあたっては、操作や進め方に慣れていない必要がある。オンライン会議の様子を一般の方が参観できる機能もある。

一人一台端末が導入されることにより、オンライン会議に全ての児童生徒が会議にすることも可能になると思う。来年度（R3）だけではなく、今後の「子ども会議」のもち方も含め検討するとよい。

(2) コロナ禍での不登校対策について

～長欠・不登校児童生徒の実態と今後の対応～

【事務局】 長期休業明けに不登校傾向となる児童生徒が多く、1日当たりの欠席者数は1月が最も高くなっている。本年度（R2）は、小学校6年、4年が高い。

また、出席停止の人数も増加している。コロナ禍による感染不安を理由とするものが多かったが、家族の体調不良や感染による出席停止が増えている。

【委員】 出席停止の理由が、体調不良等の感染の可能性によるものなのか、過度な感染不安によるものなのか、によって対応が違ってくる。

【委員】 熊本地震の際に行ったアンケートでは、男性より女性の方がストレスを抱えやすい傾向があることが分かった。コロナ禍による不安についても同様の傾向があるのでは。

【委員】 起立性調節障害と診断される児童生徒も増えてきている。ストレスも関係していると思うが、緊急事態宣言による休校や不要不急の外出自粛などからくる生活リズムの変化も影響していると考えられる。これらへの対応に現場は苦慮しているのではないかと。

【委員】 起立性調節障害は服薬治療もあるが、外出や軽い運動、入浴もよいと言われている。

【委員】 『マインドフルネス』や『TFT』といった方法によって、気持ちを落ち着かせることもできる。

※『マインドフルネス』とは、自分の意識を集中させる練習で、今の気持ちや、自分があるがままに受け取る心を育む方法。

※『TFT』とは、鍼（はり）のツボをタッピングすることで気持ちを落ち着かせ、不安や不快感の解消につなげる方法。

【事務局】 委員の皆様のご意見を必要に応じ、学校へ情報提供していく。